

卵巣がん患者の予後と血清マイクロ RNA 発現の相関を レトロスペクティブに解析する研究

1. 研究の対象：

2008 年以降に国立がん研究センター中央病院で治療を受けた、卵巣がん、卵管がん、腹膜がん患者。

2. 研究の目的・方法：

卵巣がん患者の診断、予後、治療の効果・毒性などと血清マイクロ RNA との関連を明らかにすること。

国立がん研究センターバイオバンクで保存された血清を用いてすでに測定された、血清中のマイクロ RNA のデータを用います。卵巣がん患者の血清マイクロ RNA のデータを比較することで、がん患者に特有の変化を見出し、診断モデルを作成します。この研究は、東レ（株）、ダイナコム（株）、千葉大学医学部との共同研究にて行われます。研究実施期間： 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

別の研究により測定された、血清中マイクロ RNA のデータを用います。また、カルテ、病理組織プレパラート、病理部門システムや院内がん登録を用いて、病歴、病理診断、病期診断、画像診断、手術治療・抗がん剤治療などの治療歴、副作用等の発生状況等の臨床情報を、匿名化したのちにマイクロ RNA データと組みあわせます。

4. 外部への試料・情報の提供

データ解析のためのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

国立がん研究センター中央病院	婦人腫瘍科	石川光也
千葉大学医学部	生殖医学教室	生水真紀夫
株式会社ダイナコム		藤宮仁

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究での利用を拒否する場合の連絡先：

石川光也（研究責任者／代表者）
国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
電話：03-3542-2511（代表） FAX：03-3542-3815